

# glc-mac.sed 変換内容

松浦高志

2006 年 12 月 7 日

拙作の glc-mac.sed スクリプトを用いると、Macintosh の機種依存文字<sup>\*1</sup> を、主に Adobe-Japan1-5 のグリフに変換することができる<sup>\*2</sup>。変換は sed コマンドを用いて次のように行う。UNIX で処理することを考え、改行コードは UNIX 標準の LF にしてある。pLATEX で処理する際には utf/otf パッケージを用いればよい。

```
$ sed -f glc-mac.sed input.txt >output.txt
```

このスクリプトによって変換される内容は次の通りである。

丸付数字

かっこ付数字

黒丸付数字

点付数字

ローマ数字 ローマ数字に関しては Adobe-Japan1-5 のグリフではなく、半角ローマ文字に変換する。

I II III IV V VI VII VIII IX X XI XII

i ii iii iv v vi vii viii ix x xi xii

かっこ付アルファベット

かっこ付曜日

かっこ付記号 (代) (株) (有)

丸付記号 大小(上)(中)(下)(左)(右) 控

その他記号 KK © 明証大正昭和平成

---

\*1 「Macintosh の機種依存文字」とは、文字コードは Shift-JIS (SJIS) であるが、SJIS で規定されていない空きコードに Apple が独自に規定した文字のことである。Windows や UNIX では表示されなかったり、全く別の文字として表示される。

\*2 比較的新しい Adobe Reader や Mac OS X の「プレビュー」ならば問題なく表示される。